

トークセッション

このトークセッションは、事前に幼保小中の先生方からいただいた質問をもとにしています。

代表の教員・保育士が質問をし、森川先生に回答していただく形式をとりました。

質問1

絵本の読み聞かせの場面で、登場人物の
心情になかなか気づけない子がいます。
どのような支援をしたら良いですか？

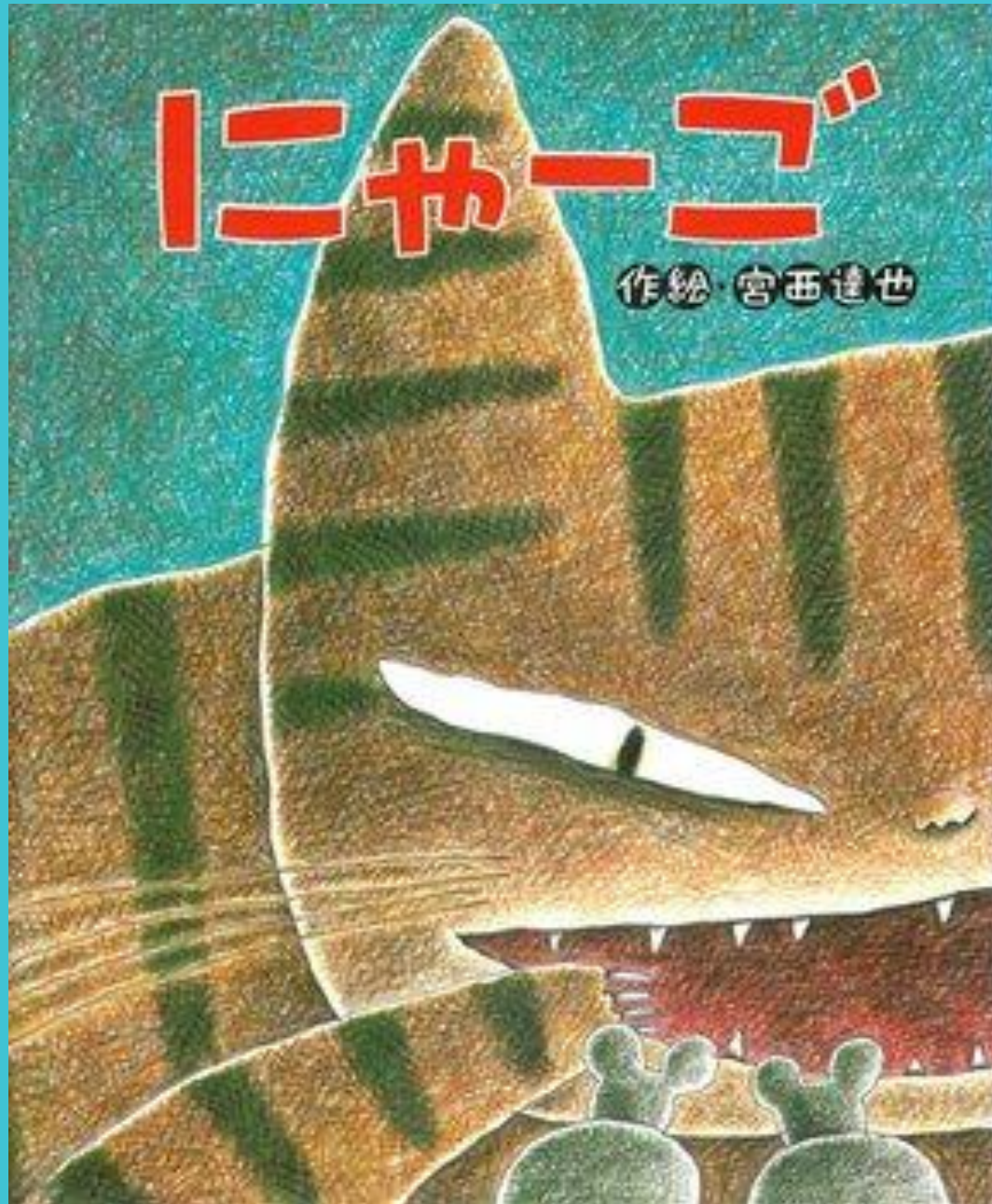
01

「登場人物の気持ち」に気づくことはとても
難しいことです。

気持ち(心情)を考えたくなる場面
を大切にしましょう。

どういうことかと言うと…





例えば「ニャーゴ」という絵本・・・

「あれだけねずみを食べようとしていたねこが、最後にねずみを食べなかったのは変だ」という、あり得ないことが起こった時に、そのときの気持ちを「なぜ？ どうして？」と考えたくなるもの。

そのような大事件がある場面で気持ちを考えさせたいですね。

読み聞かせの目的

- ・物語を読んで聞かせること
- ・お話を楽しむこと
- ・絵を楽しむこと
- ・音を聞かせること

絵本に書かれている言葉の一つひとつを、子どもの耳から体の中へ届けるようなイメージで読んで聞かせましょう。
子どもは、その音を聞き取ろうとします。

質問2

算数の文章題が読み取れるようにするには
どうしたらよいですか？

02

言葉を知っていることと、文の構造を読み取る力が大切です。

例1)

①の文をもとに考えた時、②の文の内容は正しいか、正しくないかを答えなさい。

「さらに」という言葉が分からないから解けない。

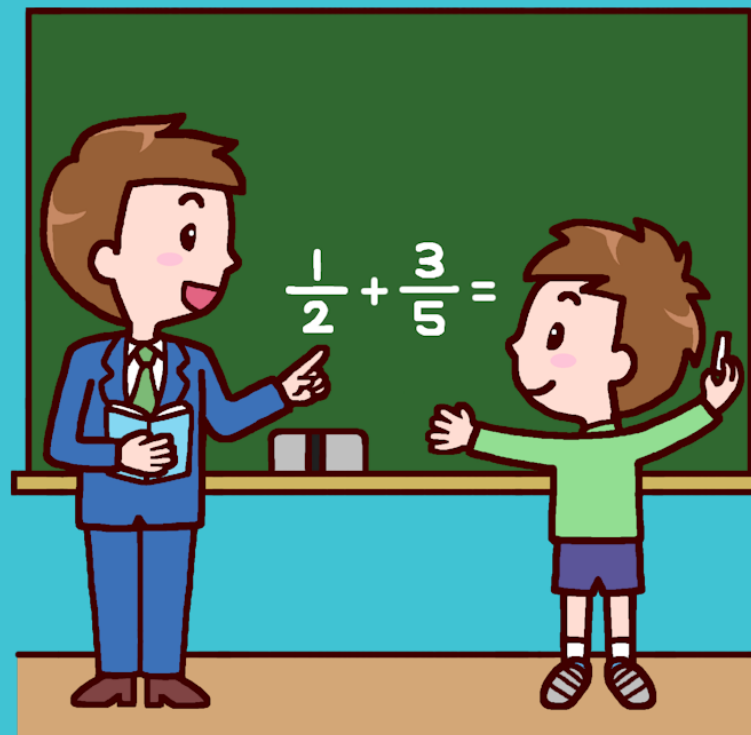
① 家から図書館まで歩いて約10分かかり、駅まではさらに歩いて15分かかる。

② 図書館から駅まで歩くと、約5分かかる。

例2)

子どもが14人ならんでいます。
えいたさんの**前**には6人います。
えいたさんのうしろには何人いますか。

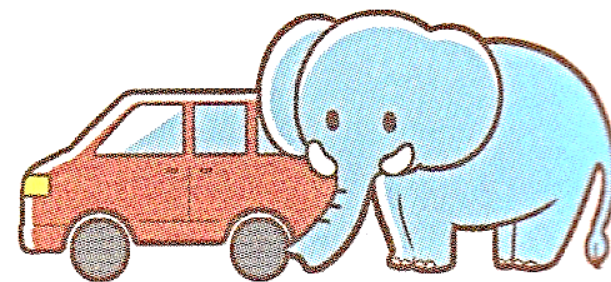
「前」という言葉が、いつも使っている「前」と合わないから分からない。



2 たんいの関係

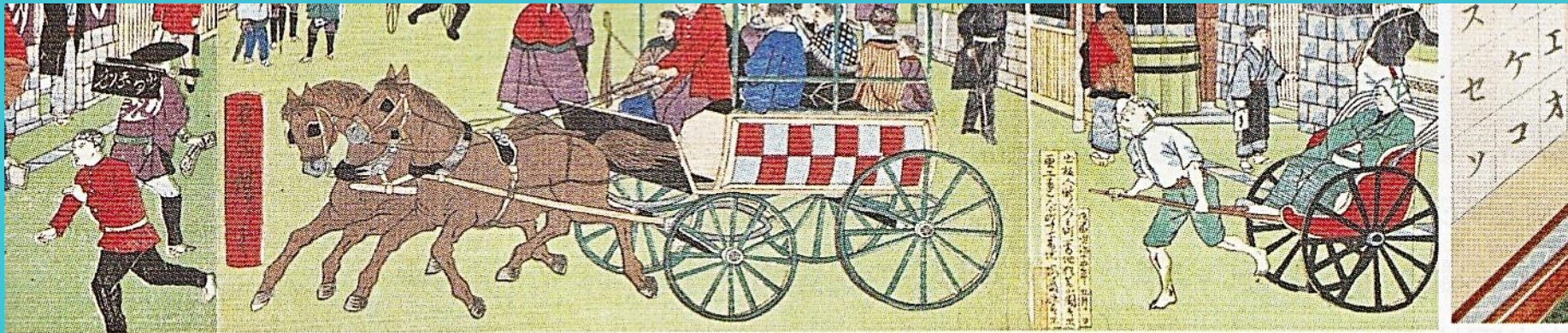
1

車の^{おも}重さやゾウの^{たいじゅう}体重など、
とても重いものをはかるときの
たんいを^{しら}調べましょう。



とても重いものをはかるときのたんいにもがあります。

何を基準にして、「とても」と表現しているのか？



↑ 4 明治時代初めの日本橋近くの様子 (東京, 1880年ごろ)



「学校やまちの様子だけでなく、ほかにも変わったものが、きっとあると思うな。」

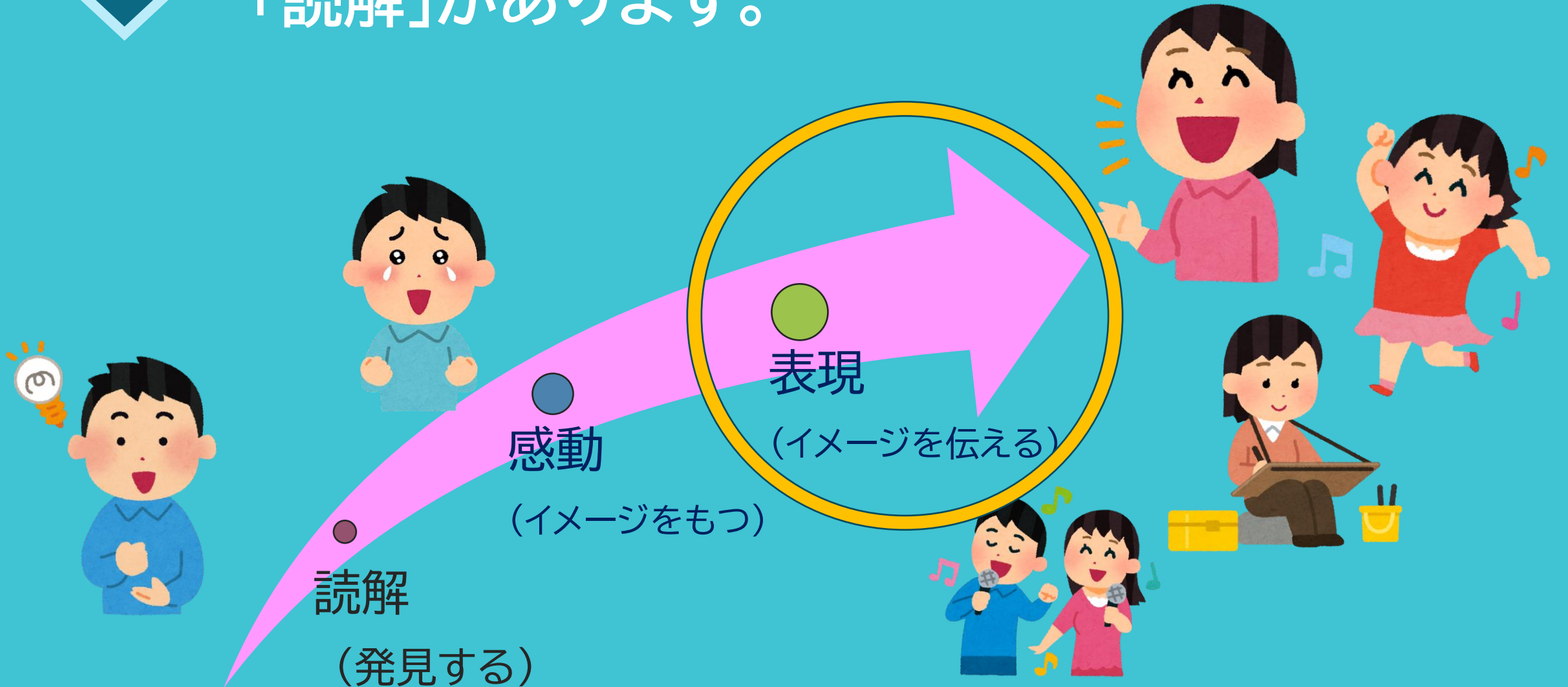
このころ、**わずか**20~30年くらいの間に、政治や外国との関係、まちの様子など、社会全体に大きな変化がありました。こうした大きな変化を明治維新いしんとよんでいます。

「20~30年」をなぜ「わずか」と表現しているのか？

質問3

音楽、美術、保健体育などの教科では、
どのように読解力を育てたらよいですか？

表現を生み出す動機として「読解」があります。



りんごを 割る友達 (6年)



見る

友だちがりんごを割ろうとしている。

読む

どんな表情？

どこに力が入っている？

筋肉の張り方は？

読解(感動)

歯の食いしばり方が普通じゃない。

視線がリンゴに集中している。

手と指先の力の入り方がすごい。

豊かなイメージ

この表情は・・・。

この筋肉の使い方が・・・。



見る

口を大きく開けている。

読む

口を開けると、口の中の空間が広がる。
ほっぺたの筋肉を上引き上げている。

読解(感動)

のどを開くようにすればいい。
笑顔をつくるようにすればいい。

豊かなイメージ

「ゆで卵をまるまる一つ口の中にいれるように」
「ペコちゃんの顔にして」

質問4

「先生聞いて！」と、複数の子が一度に話し始めることがあります。

どのように対応するとよいですか？

04

子どもの挑戦意欲を生かして、ゆずること、
がまんすることなど、自分をコントロール
できることのすごさを教えてあげましょう

こどもが挑戦したことの**価値づけ**を、
分かりやすく伝えることが大切です。



例えば、自分の話を待った子どもに対して・・・

「待つって決めることはね・・・」
「待つことって・・・」
「人にゆずることはね・・・」
「あなたがしたことはね・・・」



質問5

物語文の読み取りをするとき、子どもの
自由な発想をどこまで認めてよいですか？

05

「想像」「空想」「妄想」の違いを、確認しておくといいいですね。

※ 「想像」と「空想」の違い

具体的な根拠のない、あるいはあってもあいまいなものにたって行う古層への心の動きを「空想」・「空想する」

よりはっきりした根拠にたつ、しっかりとした心の動きを「想像」「想像する」

大江健三郎「新しい文学のために」より

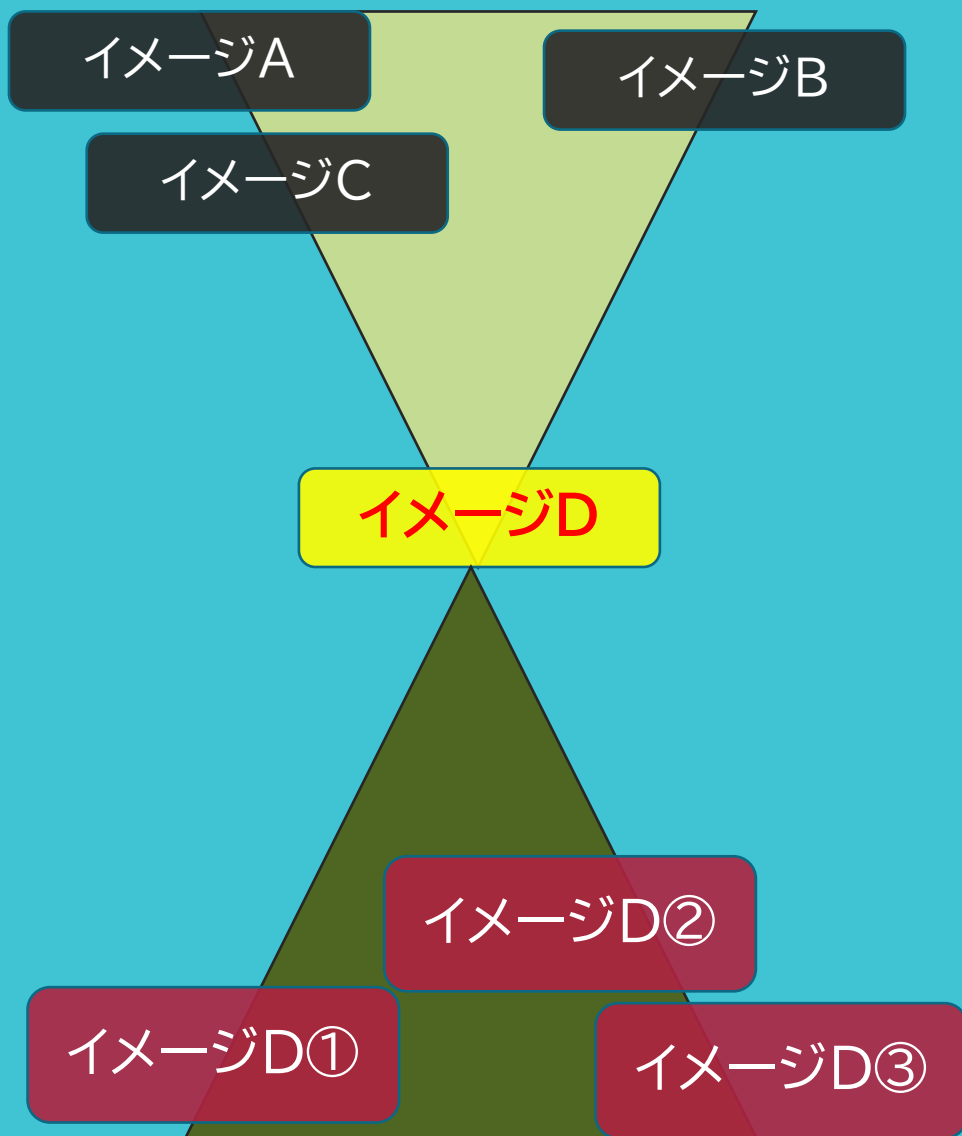


例)「もしかしたら、ごんも大切な家族を失った経験をしているかもしれない」

⇒ **どこからそう考えるの？** (根拠となるもの)
※思いつきや印象で終わらせないこと！

根拠がないものは「空想」だと、子どもが
区別できるようにしたいですね。





それぞれの印象でしかないからイメージがバラバラになる(もしかして空想?)

知識(言葉・文)を手掛かりにして発見すると、読み(イメージ)がまとまってくる

言葉・文に沿った発見から、それぞれのイメージをもつ(豊かな読解)

質問6

読み書きやコミュニケーションに困難さを感じている子、外国にルーツのある子がいます。
どのような支援が必要ですか？

06

子どもから、最も意欲を引き出すことができる方法を探ることから始めましょう。

犬山読解力を育てるためにどの道を通ればよいのか、見極めることが大切です。

例えば「見たり、聞いたりすることから読解する」学習方法…

言葉をゆっくり耳から聞きとることも…



例えば・・・

「でも、来やしないよ。」
がまくんが言いました。

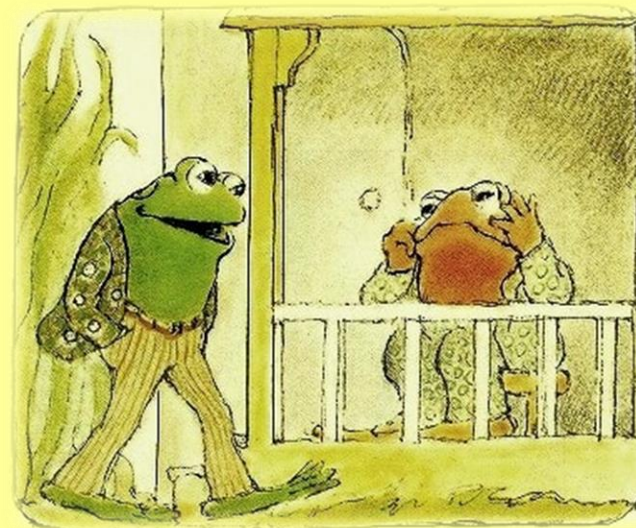
「きっと来るよ。」
かえる君が言いました。

「だって、ぼくが、きみに お手紙出したんだもの。」

「きみが。」

がまくんが言いました。

「お手紙に、なんて書いたの。」



例えば、「きみが。」をいろいろな読み方をして、どの読み方、この場面にあさわしいのか考えてみる。

(2年『お手紙』)

見る・聞(聴)く

~~読む~~

「読む」がない読解もありでは？

解かる

解いて解かる

めざす子ども像

犬山読解力

ちがった登山ルート
もあります



御在所ロープウェイ
湯の山温泉駅

質問7

言葉をまだ知らない、3歳未満の子たち。

どのような援助や関わりが必要ですか？



話しかけること、気持ちを汲みとること、感動体験をさせることが大切です。

「話す人」がいるから「聞く人」がいます。話すことは聞くことと同時に起こることなので、「**聞く力**」を育てることも大切です。

気持ちを汲みとって**代弁してあげる**ことが、言葉を引き出すことにつながります。

感動したことは伝えたくくなります。



わらべ歌、童謡・・・

日本語の豊かな表現に触れる大切な機会です。
言葉の微妙なニュアンスの違いなどが獲得できます。

雨の降り方の表現

しよぼしよぼ

しとすと

ぽつぽつ

ぱらぱら

ばらばら

ざあざあ



強さによって表現が違ふこと、
知ってますか？

質問8

読書の習慣が身につかないまま、高学年・
中学生になってしまいました。

今からでも本を読むようになりませんか。

一緒に読書をしましょう。大人が読書する姿を、子どもに見せましょう。

大人が読書する場合、お勧めは「**子どもの本**」を読むことです。子どもと一緒に読むことで、子どもに安心感を与え、そして対話ができます。

子どもの本というのは、大人になっていくために必要なことが書かれています。

読書が嫌いな高学年や中学生には推理小説がお勧めです。



できれば・・・

すぐ手にとれるところ(食堂・居間等)に本がある環境をつくってみてください。

※ちなみに

2017年「子どもの読書活動の推進等に関する調査研究」(文部科学省)

小学生の読書のきっかけ

第1位「家族と一緒に本を読んだり図書館や本屋につれていってくれたりすること」(51.1%)

第2位「家の中で手に取りやすいところに本が置かれていた」(43.6%)

質問9

図書館の本を使って調べる機会が減ってしまいました。

本を使って調べる良さとは何ですか？

09

図書館は読解の基盤となる場所です。
本との出会いを実感できる場所です。

本で調べると比較検討がしやすいです。
他の事項との関連に気づきやすいです。
「わかったつもり」になりにくいです。



できるだけ活字のものを選ぶようにすれば、写真をとるように、いわゆる「映像」(視覚的な印象)として目に焼きつけるだけに終わることが避けられます。

最も言葉に触れることのできるところが図書館。

調べ学習として利用することが減ってきたなら、読書する場所、読書をする書籍を探す・借りる場としての活用をしていくことが有効です。

先生は、図書館で本を読んでいますか？

先生は、図書館から本を借りていますか？

先生が図書館を利用している姿を見せることが効果的です。



Thanks